

**情報通信審議会 情報通信技術分科会
技術戦略委員会(第24回)について**

**令和2年3月12日
事務局**

技術戦略委員会(第24回)について

1

開催日時：令和2年3月4日（水） 15：00～16：30

- 議事：
- (1) 技術戦略委員会の検討状況について
 - (2) 重点領域WGの検討状況について
 - (3) 次期グローバルコミュニケーション計画について
 - (4) 共創イノベーションWGの検討状況について
 - (5) 標準化戦略WGの検討状況について
 - (6) その他

構成員名簿

(令和2年3月4日現在 敬称略)

| 氏名 | 主要現職 | 氏名 | 主要現職 |
|--------|--|------|---|
| 主査委員 | 相田 仁 東京大学大学院 工学系研究科 教授 | 専門委員 | 沖 理子 (国研)宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター 研究領域リーダー |
| 主査代理委員 | 森川 博之 東京大学大学院 工学系研究科 教授 | 〃 | 川添 雄彦 日本電信電話(株)取締役 研究企画部門長 |
| 委員 | 江村 克己 日本電気(株)NECフェロー | 〃 | 黒田 道子 東京工科大学 名誉教授 |
| 〃 | 上條 由紀子 太陽国際特許事務所 弁理士 | 〃 | 酒井 善則 東京工業大学 名誉教授 津田塾大学 客員教授 |
| 〃 | 増田 悦子 (公社)全国消費生活相談員協会 理事 | 〃 | 佐川 千世己 (株)富士通研究所 常務取締役 |
| 専門委員 | 浅見 徹 (株)国際電気通信基礎技術研究所 社長 | 〃 | 児野 昭彦 日本放送協会 専務理事・技師長 |
| 〃 | 飯塚 留美 (一財)マルチメディア振興センター 電波利用調査部 研究主幹 | 〃 | 野崎 雅稔 (国研)情報通信研究機構 理事 |
| 〃 | 今井 正道 (一社)情報通信ネットワーク産業協会 常務理事 | 〃 | 松井 房樹 (一社)電波産業会代表理事・専務理事・事務局長 |
| 〃 | 内田 義昭 KDDI(株)代表取締役執行役員副社長 技術統括本部長 | 〃 | 三谷 政昭 東京電機大学 工学部 情報通信工学科 教授 |
| 〃 | 大島 まり 東京大学大学院情報学環 ／東京大学生産技術研究所 教授 | 〃 | 宮崎 早苗 (株)NTTデータ 公共・社会基盤事業推進部 課長 |
| | | 〃 | 行武 剛 パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社 常務 技術・品質・環境担当 |

構成員からの主な意見

重点領域WGの検討状況について

- ◆ 国として全体にしっかりと投資がなされていることが重要で、総務省として国の中でどのような位置づけか、という点で議論すべき。
- ◆ 昨今自然災害が増えており、その中でICTは何が出来るのか。今回の議論では、サイバー空間での話に寄っており、フィジカル空間でどう対応するのかと言った視点も必要ではないか。

共創イノベーションWGの検討状況について

- ◆ EUでは産官学民の連携がよく言われている。市民も巻き込み、エコシステムの構成を変えなければならないというのがトレンド。従来型の産官学連携で社会課題解決に取り組むというアクションを変えていく必要がある。
- ◆ 大学発のテクノロジーシーズについて、都市部と地域とでは差が大きい。グローバルな視点を持ちつつも、地域の課題に対して社会課題を解決できるような、現場にコミットできるような技術の活用を考えていく視点が必要。
- ◆ 技術シーズ型のベンチャーになるとインキュベーションの部分が重要。産官学というステークホルダー同士が連携するだけでなく、エコシステムを作ると言うことを有機的に行っておく、息が長く育っていくようなファンディングの仕組みが重要。大学や研究法人がそういったファンディング制度をもつことも重要。
- ◆ 全体的にグローバルの視点が弱い。諸外国の技術だけでなく、ニーズとして何が必要とされているのかを調べなければならない。日本での課題解決だけでなく、世界でどれだけ売り込めるかという視点も必要。

標準化戦略WGの検討状況について

- ◆ 標準化が持っている、今の日本にとっての負の側面を十分に理解した上で、どのようにカバーするのかをしっかりと検討する必要がある。
- ◆ 知財について、日本は守り。攻めるためにはどうするのかを議論した方が良いのではないか。